

## 就任に当たって

平井優章

3月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた多くの方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、震災や福島第一原子力発電所の事故により被害に遭われた皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈りいたします。

さて、この度の6月1日付け人事異動により、さけます・内水面水産試験場に勤務させていただくこととなりました。どうぞよろしくお願いたします。

昭和50年4月、道職員に採用され、以来これまで後志、留萌、空知、石狩の各支庁と本庁に勤務し、そのほとんどを市町村の行財政運営の助言や地域づくりの取組への支援に関わる業務に携わってきました。また、道と市町村との職員交流により、新得町へ平成10年4月から2年間、喜茂別町へ17年4月から2年2ヶ月間それぞれ派遣され、新得町では障がい者や高齢者の方々への健康、医療、福祉に関する業務に、喜茂別町では助役、副町長として町政全般にわたる業務にそれぞれ携わりました。住民の方々にも最も身近な基礎自治体である市町村役場での貴重な経験をさせていただきました。



このような経歴でありますので、さけます・内水面水産試験場の業務と直接関わることはありませんでしたが、これまでに勤務した支庁をはじめ道内の各地域における地域振興や地域づくりの取組の中には、さけますや内水面魚種に関わりのある取組が数多くあったように思います。たとえば島牧村では温泉水を活用してテラピアを養殖し地元の温泉旅館などで提供したり、真狩村では羊蹄山の良質な湧水を活用してドナルドソんにじますの養殖に取り組んだり、幌加内町朱鞠内湖ではイトウの養殖、天塩町ではシジミのエキスを活用したドリンクの商品開発、標津町でのサーモンパークにおけるハード、ソフトの取組など市町村や民間団体などが水産資源として

または観光資源として地域の活性化や地場産業の振興などに大きな期待をかけて取り組んできましたが、これらの取組に旧道立水産孵化場がいろいろの形で関わってきたのではないかと思います。

石狩支庁に勤務していた時に、石狩川河口で昭和40年代前半まで行われていた「ろくろ」を使用したさけの地引き網漁を再現する石狩市の取組や、今は廃校となった旧厚田村の発足小学校のふ化放流の取組に関わる機会がありましたが、関係者の皆さんに大変喜ばれたことが強く印象に残っております。



子ども達が受精作業を行っているところ  
[http://www.ebetsu-city.ed.jp/kamiebetsu-s/hattari/index2/hattari\\_framepage1.htm](http://www.ebetsu-city.ed.jp/kamiebetsu-s/hattari/index2/hattari_framepage1.htm) より写真引用

また、私は現在は虻田町と合併し洞爺湖町となっています洞爺村の出身で、子どもの頃には洞爺湖で魚釣りや水泳などをして遊んだ懐かしい思い出がありますが、初めてふるさとに関係のある職場に勤務することとなり、これも何かの縁かと思っております。

北海道の有する豊かな自然や環境を生かし、安心、安全な食を提供していくことが、これからの将来に向け北海道が果たしていく大きな役割の一つと言われておりますが、こうした中で、北海道の水産業生産額の約4分の1を占めるさけます資源の維持増大や地場産業の振興につながる内水面資源の管理、増養殖技術の開発などの分野において、さけます・内水面水産試験場は独立行政法人化を契機として、これまで以上にその役割が求められるのではないかと感じております。さけます・内水面水産試験場の一員として少しでもお役に立てればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

(副場長 ひらいまさあき)